



虹の架け橋

平成30年6月4日
印西市立西の原小学校
校長室 便り No. 6

掃除の心・・・黙動に向けて

4月の職員会議で先生方と共通理解をしたことは、「掃除の時間は黙動させる」ということです。めざす子ども像は、「きれいな学校・教室を目指して進んで清掃に取り組む子」、サブテーマは「西の原小学校を隅々まで輝かせる清掃」です。

自分の子どもの頃を振り返ってみると、「清掃指導」は大変厳しいものであったと記憶しています。校舎は木造で大変古く、一番古い教室の廊下側の窓は障子張りでした。勿論平屋で床には穴があり、覗くと床下の土が見えました。掃除は水拭きでした。雑巾をきつくしぼりきゅつきゅつと磨くと床は黒光りします。厳しい先生の指導の下、無言で清掃を行うことが当然であり、黒く光るまで床を磨くことが「掃除」でした。冬はあかぎれの手に冷たい水がしみて飛び上がるほど痛かったことを覚えています。

私が教員になった頃はすでに校舎は鉄筋コンクリートとなり、磨いて床を光らせることはなくなりました。もう、その頃から家庭で子どもたちに雑巾がけをさせる家は少なくなってきたと思います。しだいに雑巾が絞れない子が増えてきました。家庭での清掃は掃除機から、今やお掃除ロボットなるものも登場し、人手をかけずに掃除をする時代に突入しています。

学校掃除を子どもが行っているという国は世界的に見ても珍しいそうです。学校掃除は日本の文化であるとも言えるでしょう。では、この文化は私たちに何を教えてくれるのでしょうか。まず、①自分たちで自分たちが使うところをきれいにするから、始めから汚さないように気をつけよう、という気持ちを育てることになります。また ②集団で協力して時間内にやり遂げるために「協力」という学びもあります。③効率的に行うために段取りをする力もついてくるでしょう。掃除はその技術を向上させるだけでなく、子どもたちの精神面や生活力も伸ばすことになるのです。

先日言葉を引用させていただいた東井義男氏は、次のような言葉も残しています。

答案 掃除は、人間が生活で書く答案だ。自分がどれくらいのしろものであるかを示す人間の答案が掃除だ。 **掃除の心** 掃除の心をちゃんと持っている子、掃除に心を入れてできる子は、中学にいても、世の中に出ても、絶対に間違いない。「痛覚」を呼び戻す 何より私たち自身に、汚れが見え、荒れが気になり、箒の柄の折れ目に胸の痛みを感じる「痛覚」を呼び戻そう。**思うこと** 掃除は学習よりも大切だ。賢くても、そうじをきちんとしない子は、たいしたことがない。

確かに、掃除をしている後ろ姿を見れば、その子の物事に対する真剣さが伝わってきます。自分にとっての損得ではなく、人のため学校のため力を尽くせることは、社会に出た時、人のため勤務先のため家庭のためそしてひいては社会のために働けることにつながっていくのではないかと思います。学校では「掃除」の意義を子どもたちが身をもって体験・理解し、主体的に物事に取り組めるように指導していきたいと思っています。

植物の成長と子ども

1年生の育てているアサガオがとても大きくなりました。2年生の育てているキュウリやナス、ミニトマトもとても大きくなりびっくりしました。植物の成長になくはないものの一つに「水」があります。水を毎日欠かさずにあげるということは簡単なようで実は簡単ではありません。1年生も2年生も毎日アサガオや野菜への水やりをがんばっていたのでしょ。アサガオや野菜たちが『「大きくなってね。アサガオさん」「大きくなっておいしい実をつけてね。ミニトマトさん」と、毎日子どもたちの声や気持ちを浴びています！』と教えてくれたような気がしました。



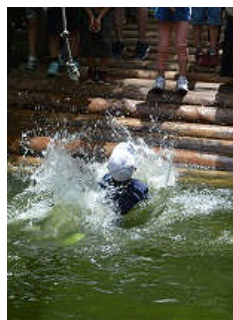
3年生はヒマワリとホウセンカ、4年生はゴーヤ、5年生はインゲンマメ、6年生はジャガイモと、理科で様々な学習課題を解決するために植物を育てています。理科の学習は子どもたちの科学的な知的好奇心を駆り立て、知識を広げ思考力を伸ばしていきます。学年が上がるにつれ、植物は学習材として色濃くなりますが、植物を育てる中で植物の成長を願い慈しむ心も育ってくれることを願っています。



先日、朝校門の前に立っていると2年生が花壇の花を指して「校長先生、これポキッと折るといいにおいがするんだよ。」と教えてくれました。花の名はチェリーセージホットリップス。ミントの香りのハーブです。2年生にハーブの知識があることに驚きました。(おばあちゃんが教えてくれたそうです。)子どもたちは、おじいちゃんやおばあちゃんや自分を取り巻いてくれている方々から、いろいろなことを教えてもらっているんだなあと感じました。

3年生校外学習

5月25日(金)、3年生は野田のキッコーマン醤油工場と清水公園へ校外学習に行ってきました。醤油工場では醤油の製造工程を見学しました。醤油の絞りかすの強烈なにおいをかいで顔がクシャクシャになった子どもたち。でも、醤油ができるまではしっかりと見学することができました。



清水公園では昼食前はフィールドアスレチックでたっぷり活動しました。午後からは、水上ターザンに挑戦する子が続出しました。もう少しで着地というところで飛び降りることができずに、ターザンロープで元の位置に戻されてしまうというハラハラドキドキ劇が繰り返される中、残念ながら池にポチャ!という場面も・・・全身ずぶ濡れの子もいましたが、楽しい一時を過ごすことができました。準備やお弁当作り等へのご協力ありがとうございました。

